

提出資料一覧

- 1 参加表明書
 - ・別紙 2 の各項目を記載して、1 部提出してください。
- 2 ISMS 認証 (ISO27001) 又はプライバシーマークの認定が確認できる書類
 - ・参加表明書提出時に、1 部提出してください。
 - ・認定証の写しは、カラー又は白黒のいずれでも支障ありませんが、提出物が「写し」である旨を朱書きで表記してください。
- 3 企画提案書
 - ・社名入り 1 部、社名なし 1 2 部を提出してください。
 - ・「社名なし」分は、審査は社名を非開示にして行うため、社名やこれを推認できる箇所を非表示にしたものを 1 2 部提出してください。
 - ・原則として A 4 縦に横書きで両面印刷とし、20 枚（表紙や目次を除き、40 ページ）以内を目標とし、可能な限り要点をまとめて簡潔に作成してください。また、前述の提案書とは別に、概要版として A 4 縦に横書きで両面印刷とし、1 枚（両面で 2 ページ）にまとめたものを作成してください。
 - ・予定するシステムの構成図（ネットワーク構成を含みます。）を作成し、提案書に含んでください。
 - ・システムの再構築後の評価や賦課事務に係る業務の流れを記載するとともに、その想定する事務を実現するためのシステムの運用、特にシステムによる自動処理や市職員が行うことになるオペレーション作業の範囲についても誤解がないよう明確に記載してください。
 - ・提案書とは別に、システムの機能一覧（機能の要件、概要の説明付き）を作成し、システムとして有する機能の概要が把握できるようにしてください。機能一覧として添付していただく資料の枚数に上限は設けません。
- 4 平成 29 年度分、平成 30 年度分、平成 31 年度分の見積書
 - ・再構築に係る経費を評価するためのものです。
 - ・年度ごとに社名入り 1 部、社名なし 1 2 部を提出してください。
 - ・「社名入り」分は、代表者（指名競争入札参加資格者名簿に登録されている代表者又は委任者）の押印がある見積書を提出してください。
 - ・「社名なし」分は、社名や所在地、代表者（委任者）の記載がないものを 1 2 部提出してください。
 - ・当該見積書は当該年度の履行に係る積算の内訳が分かるようにしてください。
- 5 平成 32 年度分以後の見積書
 - ・導入後のシステムのランニングコストを評価するためのものとなります。
 - ・社名入り 1 部、社名なし 1 2 部を提出してください。
 - ・「社名入り」分は、代表者（指名競争入札参加資格者名簿に登録されている代表者又は委任者）の押印がある見積書を提出してください。

- 「社名なし」分は，社名や所在地，代表者（委任者）の記載がないものを12部提出してください。
- 当該見積書は平成32年4月1日からのシステム運用コストに係る積算の根拠が分かるようにしてください。
- システム運用コストに含まれる「保守」の範囲（税制改正の対応や障害発生時の対応等）を明確に記載してください。